

# おいらせ町の財務書類

(平成21年3月31日現在)

- 1 . 貸借対照表
- 2 . 行政コスト計算書
- 3 . 純資産変動計算書
- 4 . 資金収支計算書

平成22年5月

おいらせ町

## 【作成の前提】

おいらせ町の財務書類は、以下の基準により作成しています。

### 基準年月日

平成21年3月31日現在

### 対象範囲

普通会計

(おいらせ町の場合、一般会計、奨学資金貸付事業特別会計、霊園事業特別会計、公共用地取得事業特別会計が対象となっています)

### 基礎数値

昭和44年度以降の地方財政状況調(決算統計)のデータを基礎数値としています。

## 1. 貸借対照表(バランスシート)

### (1)「貸借対照表」とは

地方公共団体の決算書は1年間にどのような収入が有り、何にいくら使うかという支出の情報は明らかですが、どのような資産や負債がどの程度有るのかという情報は多少わかりにくいものとなっています。

貸借対照表とは、この資産と負債の状況を明らかにする財務書類です。

貸借対照表では、下図のように資産、負債及び純資産により構成されています。

「資産」は左側に示され、町が保有する現金や土地・建物などの財産の状況を示しています。右側には資産を形成するための財源が示され、将来の世代が負担する場合は「負債」に計上され、既に負担済みであれば「純資産」に計上されます。

借方(財産)	貸方(財源)
資 産 土地・建物、 預金など	負 債 地方債など 将来の世代が 負担するもの
	純資産 納付済みの税金 など、これまでの 世代が既に負担 したもの

( 2 ) 貸借対照表の概要

おいらせ町普通会計 貸借対照表

(平成21年3月31日現在)

(単位:千円)

借 方		貸 方	
資 産 の 部		負 債 の 部	
1 公共資産	35,899,224	1 固定負債	15,371,466
(1) 有形固定資産	35,862,035	(1) 地方債	12,027,333
(2) 売却可能資産	37,189	(2) 長期未払金	19,691
		(3) 退職手当引当金	1,648,309
2 投資等	4,436,566	(4) 損失補償等引当金	1,676,133
(1) 投資及び出資金	2,519,741		
(2) 貸付金	0	2 流動負債	1,704,255
(3) 基金等	1,824,409	(1) 翌年度償還予定地方債	1,146,487
(4) 長期延滞債権	172,482	(2) 短期借入金	0
(5) 回収不能見込額	80,066	(3) 未払金	488,420
3 流動資産	1,770,927	(4) 翌年度支払予定退職手当	0
(1) 現金預金	1,674,053	(5) 賞与引当金	69,348
(2) 未収金	96,874		
		<b>負 債 合 計</b>	<b>17,075,721</b>
		<b>純 資 産 の 部</b>	
		1 公共資産等整備国県補助金等	7,834,103
		2 公共資産等整備一般財源等	20,300,054
		3 その他一般財源等	3,127,940
		4 資産評価差額	24,779
		<b>純 資 産 合 計</b>	<b>25,030,996</b>
<b>資 産 合 計</b>	<b>42,106,717</b>	<b>負 債 ・ 純 資 産 合 計</b>	<b>42,106,717</b>

平成 21 年度末のおいらせ町普通会計の資産合計は 421 億 672 万円です。

一方、この財源はこれまでの世代が町税や国・県等の補助金という形で負担済みのもの(純資産)が 250 億 3,100 万円、負債という形で将来世代が負担するものが 170 億 7,572 万円です。

純資産と負債の比率は概ね 59 : 41 となっています。

### (3) 資産

資産は、「公共資産」、「投資等」、「流動資産」で構成されています。

#### ア 公共資産

公共資産は、「有形固定資産」と「売却可能資産」で構成されており、資産の大部分を占めています。

おいらせ町の普通会計では 358 億 9,922 万円を計上しています。

資 産	負 債
1 公共資産	純資産
2 投資等	
3 流動資産	

#### 有形固定資産

「有形固定資産」は、長期にわたって行政サービスを提供するために使用している土地・建物等の資産です。昭和 44 年度以降の取得費累計から減価償却累計を控除して算出しています。当町では道路、学校などの土地・建物などの有形固定資産が総額で 358 億 6,204 万円となり、資産全体の大部分を占めています。

#### 売却可能資産

売却可能資産は、行政目的のために使用されていない公共資産のうち、現に分譲等が行なわれており、直ちに売却することができる資産を計上しています。洋光台分譲地など 3,719 万円を計上しています。

#### イ 投資等

投資等は、公営企業等への出資金、基金、回収期限から 1 年以上回収できていない債権（長期延滞債権）などの資産が計上されています。

おいらせ町の普通会計では 44 億 3,657 万円を計上しています。

資 産	負 債
1 公共資産	純資産
2 投資等	
3 流動資産	

#### 投資及び出資金

公営企業（水道、病院事業）に対するものが主なものです。総額で 25 億 1,974 万円と相当な金額となっています。

#### 基金等

財政調整基金・減債基金以外の目的基金が計上されています。主要なものでは、合併特例債で造成した地域振興基金が 12 億 3,000 万円となっています。

また、当町は退職手当組合に加入していますが、支払った退職手当が町から退職手当組合へ支払った負担金の金額を上回っているため、退職手当組合積立金はゼロ計上となっています。

#### 長期延滞債権

納付期限から1年以上経過しているにもかかわらず、いまだ収入されていない債権を指します。資産に計上されていますが、これはできる限り少ない方が好ましいものです。当町では、1億7,248万円が計上されています。

#### 回収不能見込額

「長期延滞債権」のうち、不能欠損処理をして回収不能となることが見込まれる金額を過去実績から推計して計上しています。

### ウ 流動資産

流動資産は、現金と必要に応じて直ぐに現金化できる基金、税金等の未収金が計上されます。

おいらせ町は、17億7,093万円を計上しています。

#### 現金・預金

財政調整基金及び減債基金の残高、歳計現金となっています。当町では16億7,405万円を計上しています。

#### 未収金

その年度の歳入として調定したが、まだ実際に収入が無いもの（滞納期間が1年未満のもの）が計上されます。当町では町税とその他の収入を合わせて9,687万円が計上されています。

<b>資 産</b>	<b>負 債</b>
1 公共資産	<b>純資産</b>
2 投資等	
3 流動資産	

### (4) 負債

負債は「固定負債」、「流動負債」で構成されています。

おいらせ町の普通会計の負債総額は170億426万円です。

#### ア 固定負債

負債のうち平成22年度以降に返済が行なわれるものは、固定負債といい、翌々年度以降に支出される「地方債」と「長期未払金」、「退職手当引当金」、「損失補償等引当金」などが計上されます。

#### 地方債

固定負債に計上される地方債は、地方債残高のうち翌々年度に償還されるもので、おいらせ町の普通会計は120億2,733万円となり、負債総額の大部分を占めています。

#### 長期未払金

長期未払金は、リースなどで物件の引渡しを受けて、まだ支払っていない額等を計上します。

#### 退職手当引当金

<b>資 産</b>	<b>負 債</b>
	1 固定負債
	2 流動負債
<b>純資産</b>	

退職手当引当金は、職員が年度末時点で全員退職した場合に必要な退職手当額です。おいらせ町分の退職手当組合積立金の残高がありませんので、この全額（16億4,831万円）を将来の収入で負担しなければいけません。

#### 損失補償等引当金

青森県新産業都市建設事業団の百石住宅用地会計の平成21年3月31日現在の資金不足額（16億7,613万円）を全額計上しています。なお、青森県新産業都市建設事業団に対しては、町から毎年1億円の元金補給金が支払われており、資金不足額は毎年減少しています。

資 産	負 債
	1 固定負債 2 流動負債
	純資産

#### イ 流動負債

負債のうち1年以内に返済を行なうものは流動負債といい、「地方債のうち翌年度償還分」、「債務負担行為のうち翌年度支払予定額」、「賞与引当金（翌年度に支払う予定の期末手当及び勤勉手当のうち今年度負担分）」などが計上されます。

#### 翌年度償還予定地方債

11億4,649万円が計上されています。

#### 未払金

債務負担行為のうち翌年度支払予定額については、未払金として4億8,842万円を計上しています。

#### 賞与引当金

平成21年度6月期に支払うことが予定される期末手当及び勤勉手当のうち、平成20年度負担相当額（平成20年12月から平成21年3月末までに係る分として4箇月分）については、賞与引当金として6,935万円を計上しています。

#### (5) 純資産

純資産は、資産から負債を差し引いたものであり、「公共資産等整備国県補助金」、「公共資産等整備一般財源等」、「その他一般財源等」、「資産評価差額」から成ります。

おいらせ町普通会計の純資産総額は250億3,100万円となっています。

資 産	負 債
	純資産
	1 公共資産等整備国県補助金等 2 公共資産等整備一般財源等 3 その他一般財源等 4 資産評価差額

#### 公共資産等整備国県補助金等

公共資産等の財源のうち、国・県の補助を受けた部分です。公共資産と同様に、その財源となった国県補助金等も償却していきます。78億3,410万円を計上しています。

#### 公共資産等整備一般財源等

公共資産等の財源として、国・県補助金や地方債など、特定財源を差し引いたものです。203億5万円を計上しています。

#### その他一般財源等

その他一般財源等は、31億2,794万円と、マイナス計上となっています。これは、資産形成につながっていない負債（臨時財政対策債など）があることや、負債に対応する積立がなされていない（退職手当引当金、賞与引当金、損失補償等引当金など）ことを表しており、将来の収入のうちこの金額の用途が既に拘束されていることを表しています。

#### 資産評価差額

投資等の取得価額と時価評価額の差額2,478万円を資産評価差額として計上しています。

### (6) 注記

貸借対照表は本表以外に注記情報が記載されています。

#### 他団体及び民間への支出金により形成された資産

地域の資産整備は、町自身で整備したもののほか、保育所など民間への補助という形で形成されたものがあります。

本表の有形固定資産と同様に減価償却後の金額を計上しています。総額では37億4,005万円となり、町が保有する有形固定資産の10%程度となっています。

#### 債務負担行為に関する情報

貸借対照表の「長期未払金」、「未払金」に計上されたもの以外に将来負担となる可能性があるものが計上されています。町では、農家の経営資金融資に対して合計6,350千円の債務保証を行なっています。これは、場合によっては町の負担になる可能性があるので注意が必要です。

#### 地方交付税措置の金額

地方債の中には、将来の償還財源として地方交付税の収入が見込まれるものが存在します。おいらせ町普通会計では、地方債残高131億7,382万円のうち75億5,052万円（57.3%）が地方交付税の金額の計算に含まれることが見込まれています。ただし、この金額がそのまま収入となる訳では無いことに注意が必要です。

#### 普通会計の将来負担に関する情報

地方公共団体の財政の健全化に関する法律による規定されている「将来負担比率」の情報が記載されています。

おいらせ町の普通会計は、254億1,821万円の将来負担額が有り、これを軽減する資産が162億5,717万円で、差引で91億6,104万円の実質負担となっています。

#### 土地及び減価償却累計額

有形固定資産のうち、土地の金額と減価償却の累計が示されていますので、どの程度減価償却が進んでいるか把握することができます。

おいらせ町では、有形固定資産合計額 368 億 6,204 万円のうち土地が 79 億 3,504 万円ですので、償却資産は差引 289 億 2,749 万円となります。これに対し、減価償却累計額は 185 億 4,849 万円ですので、償却資産の取得価額 464 億 7,549 万円に対して 39.9%の減価償却が進んでいることとなります。

#### (7) 貸借対照表を用いた分析

社会資本形成の世代間負担比率

社会資本形成の結果を表す公共資産のうち、純資産による形成割合を見ることにより、これまでの世代によって既に負担された割合を見ることができます。

この割合が低ければ、地方債などの負債が公共資産に対して大きく、将来世代の負担が大きいのといえることができます。

借方(財産)	貸方(財源)
公共資産合計 35,899,224千円	将来世代が負担 38.1%
	これまでの 世代が負担 61.9%

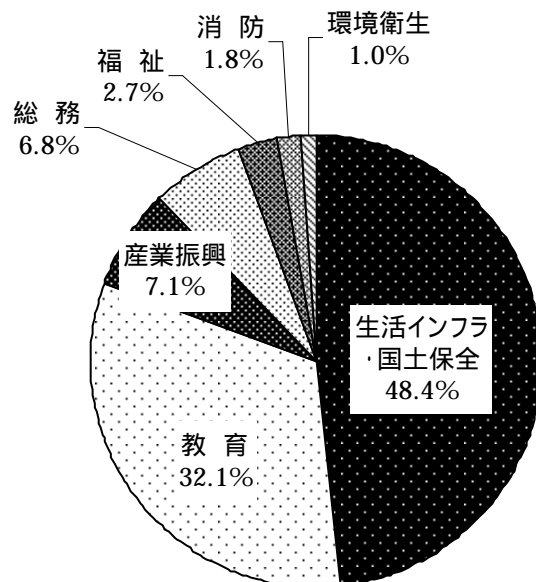
おいらせ町では、公共資産のうち、これまでの世代が負担した割合が 61.9%、将来世代が負担する割合が 38.1%となっています。

将来世代の負担割合が過大とならないように、今後とも注意を払っていく必要が有ります。



### 有形固定資産の行政目的別割合

有形固定資産の行政目的別割合を見ることによって、その地方公共団体が力を入れて整備を行ってきた分野を把握することができます。



おいらせ町では、道路などの生活インフラや、小・中学校などの教育に多くの投資をしていることが把握できます。

## 2. 行政コスト計算書

### (1) 「行政コスト計算書」とは

資産形成に関する情報が貸借対照表で示されるのに対して、行政コスト計算書は、福祉などの資産に結びつかない行政サービスに係る経費とその財源を対比させた財務書類です。

### (2) 行政コスト計算書の概要

平成20年度の経常行政コストは、減価償却などの非現金支出を含め、82億3,826万円となり、そのうち受益者負担となる経常収益は2億9,626万円であり、差引で行政コストのうち96.4%が町税などの一般財源等で賄われています。

### おいらせ町普通会計 行政コスト計算書

(平成20年度)

(単位:千円、%)

区 分	金 額	構成比率
<b>経常行政コスト a</b>	<b>8,238,261</b>	<b>100.0%</b>
<b>1 人にかかるコスト</b>	<b>1,167,170</b>	<b>14.2%</b>
(1)人件費	1,017,159	12.3%
(2)退職手当引当金繰入等	80,663	1.0%
(3)賞与引当金繰入額	69,348	0.8%
<b>2 物にかかるコスト</b>	<b>2,229,295</b>	<b>27.1%</b>
(1)物件費	1,048,155	12.7%
(2)維持補修費	48,841	0.6%
(3)減価償却費	1,132,299	13.7%
<b>3 移転支出的なコスト</b>	<b>4,120,697</b>	<b>50.0%</b>
(1)社会保障給付	1,330,053	16.1%
(2)補助金等	1,252,304	15.2%
(3)他会計等への支出額	1,234,844	15.0%
(4)他団体への公共資産整備補助金等	303,496	3.7%
<b>4 その他のコスト</b>	<b>721,099</b>	<b>8.8%</b>
(1)支払利息	249,319	3.0%
(2)回収不能見込計上額	13,386	0.2%
(3)その他行政コスト	458,394	5.6%
<b>経常収益 b</b>	<b>296,262</b>	<b>3.6%</b>
<b>1 使用料・手数料</b>	<b>76,657</b>	<b>0.9%</b>
<b>2 分担金・負担金・寄附金</b>	<b>219,605</b>	<b>2.7%</b>
<b>(差引) 純経常行政コスト a-b</b>	<b>7,941,999</b>	<b>96.4%</b>

### (3) 性質別コスト

最も行政コストとして大きいのが扶助費、補助金など、他の主体へ移転して使用される「移転支出的なコスト」の41億2,070万円であり、これが行政コストのおよそ50%を占めています。

扶助費などの社会保障給付は年々増える傾向にあります。また、おいらせ町ではごみ処理や消防など一部事務組合に加入している事務が多く、支払う負担金の割合も比較的高めになっています。なお、町の単独補助金については、全体的に見直しを行い、コストの縮減を図っていきます。

次に「物にかかるコスト」が22億2,926万円(27.1%)と金額が大きくなっています。ただし現金支出を伴わない減価償却がこの中で一番大きいコストであること、物件費に対するマイナスシーリングをこれまでも継続し、節減に努めてきたことを考慮すると、今後「物にかかるコスト」を大幅に削減することは難しいかもしれません。

人件費などの「人にかかるコスト」は11億6,717万円(14.2%)、支払利息などの「その他のコスト」は7億2,110万円(8.8%)となっています。

また、これらの行政コストに対する負担金、使用料などの受益者負担は合わせて2億9,626万円(3.6%)となっています。

### 3. 純資産変動計算書

#### (1) 「純資産変動計算書」とは

貸借対照表の純資産の部が、1年の間にどのように変動したかを示す財務書類です。

#### (2) 純資産変動計算書の概要

平成20年度の純経常行政コスト79億4,200万円に対して、地方税、地方交付税など経常的な一般財源が63億2,903万円、国や県の補助金が20億2,277万円有ります。

したがって、おいらせ町の普通会計の純経常行政コストは、受益者負担以外の経常的な財源により全て賄われていることがわかります。

また、災害復旧費、公共資産の売却益等の臨時的な要因による資産の増減を含めた純資産の平成20年度中の増減は4億6,191万円の増となります。

#### おいらせ町普通会計 純資産変動計算書

(平成20年度)

(単位:千円)

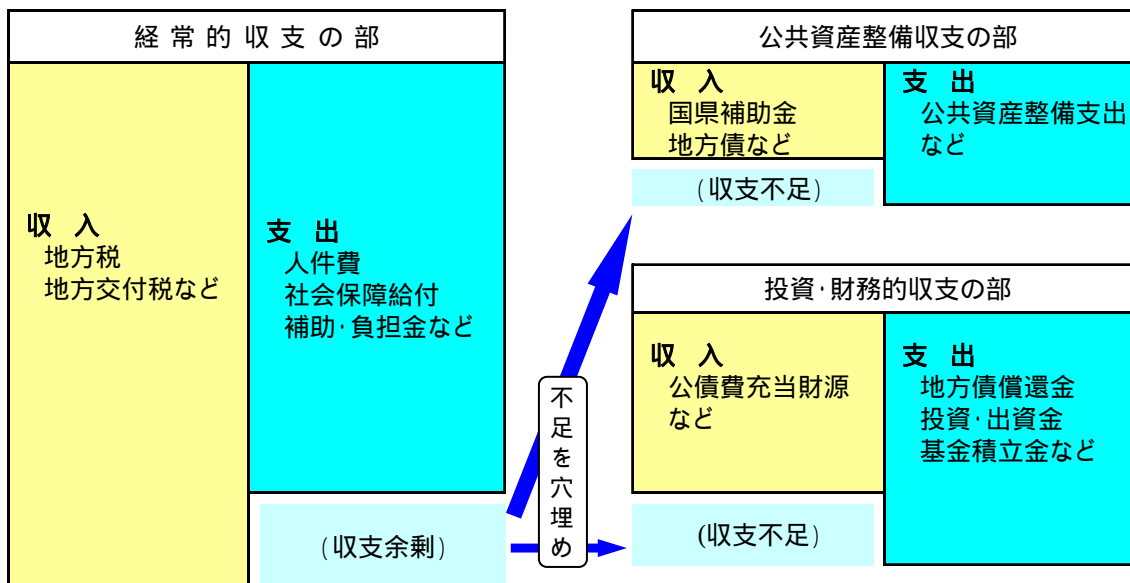
区 分	金 額
<b>期首(平成20年4月1日)純資産残高</b>	24,569,088
<b>純経常行政コスト</b>	7,941,999
<b>一般財源</b>	6,329,028
地方税	2,345,466
地方交付税	3,355,752
その他行政コスト充当財源	627,810
<b>補助金等受入</b>	2,022,772
<b>臨時損益</b>	25,560
災害復旧事業費	1,197
公共資産除売却損益	26,757
投資損失	0
<b>無償受贈資産受入</b>	0
<b>その他</b>	26,547
<b>期末(平成21年3月31日)純資産残高</b>	25,030,996

## 4 . 資金収支計算書

### ( 1 ) 「資金収支計算書」とは

1年間の資金の出入り（歳計現金）の情報を、性質の異なる3つの区分「経常的収支の部」、「公共資産整備収支の部」、「投資・財務的収支の部」に分類し表示する財務書類です。

3つの区分を図に示すと次のようになります。



経常的収支の部で生じた黒字で、公共資産整備の部と投資・財務的収支の部の赤字を穴埋め・補てんするという関係になります。

### ( 2 ) 資金収支計算書の概要

経常的収入の部		公共資産整備収支の部	
収入	8,414,882	収入	1,001,064
支出	6,035,677	支出	1,416,679
収支( )	2,379,205	収支( )	415,615
		投資・財務的収支の部	
		収入	95,984
		支出	1,928,155
		収支( )	1,832,171
↓			
当年度歳計現金増減額			
( + + )			
131,419			
期首(H20.4.1)現金残高		期末(H21.3.31)現金残高	
122,163		253,582	

おいらせ町の普通会計の資金収支計算書は、「経常的収支の部」で生じた収支余剰(黒字) 23 億 7,921 万円で、「公共資産整備収支の部」の収支不足(赤字) 4 億 1,562 万円と「投資・財務的収支の部」の収支不足(赤字) 18 億 3,217 万円を補てんし、充当後の残額分(1 億 3,142 万円)歳計現金が増加し、期末時点での歳計現金残高は、2 億 5,358 万円となりました。

#### ア 経常的収支の部の内訳

(単位:千円)

1 経常的収支の部	
人件費	1,303,739
物件費	1,048,155
社会保障給付	1,330,053
補助金等	1,240,570
支払利息	249,319
他会計等への事務費等充当財源繰出支出	813,803
その他支出	50,038
支出合計	6,035,677
地方税	2,289,469
地方交付税	3,355,752
国県補助金等	1,560,733
使用料・手数料	31,642
分担金・負担金・寄附金	209,820
諸収入	48,348
地方債発行額	361,700
基金取崩額	142,463
その他収入	414,955
収入合計	8,414,882
経常的収支額	2,379,205

支出には、人件費や物件費など、経常的な行政サービスを提供するため必要な費用が計上されます。おいらせ町の普通会計では、金額の大きい順に社会保障給付 13 億 3,005 万円、人件費 13 億 374 万円、補助金等 12 億 4,057 万円が主なものとなっており、経常的な支出は合計で 60 億 3,568 万円となっています。

一方、収入では金額の大きい順に地方交付税 33 億 5,575 万円、地方税 22 億 8,947 万円、国県補助金等 15 億 6,073 万円が主なものとなっており、経常的な収入は合計で 84 億 1,488 万円となっています。国に依存している収入構造であることが把握できます。また、地方債発行額には臨時財政対策債(赤字地方債)を計上しています。

経常的収支で生じた黒字(経常的収支)については、公共資産整備収支の部、投資・財務的収支の部の赤字などに充当されます。

## イ 公共資産整備収支の部の内訳

(単位:千円)

2 公共資産整備収支の部	
公共資産整備支出	1,065,387
公共資産整備補助金等支出	303,496
他会計等への建設費充当財源繰出支出	47,796
支出合計	1,416,679
国県補助金等	462,039
地方債発行額	417,600
基金取崩額	74,060
その他収入	47,365
収入合計	1,001,064
公共資産整備収支額	415,615

支出では、自団体で公共資産を整備する公共資産整備支出 10 億 6,539 万円、他団体に補助金を拠出して公共資産を整備する公共資産整備補助金等支出 3 億 350 万円、他会計への繰出金や補助金のうち建設費に充てられる支出が 4,780 万円となっており、合計で 14 億 1,668 万円が公共資産整備に使われていることが把握できます。

一方、収入では国県補助金等 4 億 6,204 万円、地方債 4 億 1,760 万円などであり、合計で 10 億 106 万円となっています。

公共資産整備収支で生じた赤字 4 億 1,562 万円については、経常的収支の部で生じた黒字（一般財源）により賄われます。

## ウ 投資・財務的収支の部の内訳

(単位:千円)

3 投資・財務的収支の部	
投資及び出資金	24,670
貸付金	5,000
基金積立額	14,956
定額運用基金への繰出支出	5,010
他会計等への公債費充当財源繰出支出	483,529
地方債償還額	1,394,990
長期未払金支払支出	0
支出合計	1,928,155
国県補助金等	0
貸付金回収額	0
基金取崩額	0
地方債発行額	0
公共資産等売却収入	8,697
その他収入	87,287
収入合計	95,984
投資・財務的収支額	1,832,171
翌年度繰上充用金増減額	0
当年度歳計現金増減額	131,419
期首歳計現金残高	122,163
期末歳計現金残高	253,582

支出では、借金の返済費用、投資や基金への積立が計上されます。おいらせ町の普通会計では、金額の大きい順に地方債償還額 13 億 9,499 万円、他会計等への公債費充当財源繰出支出 4 億 8,353 万円などが計上され、合計で 19 億 2,816 万円となっています。

一方、収入では地方債償還に充当された公共資産等売却収入などが計上されていますが、金額の大きい収入が特に無く、収入合計額は 9,598 万円となっており、収支では 18 億 3,217 万円の赤字となっています。この収支不足額は、経常的収支の部で生じた黒字（一般財源）により賄われます。

ア～ウの各部の収支により、現金残高は平成 20 年度中で 1 億 3,142 万円増加し、期末歳計現金の残高は 2 億 5,358 万円となっています。